

# ノイエスだより

ノイエス朝日(朝日印刷工業株式会社)  
前橋市元総社町六七番地  
電話 027・255・3434  
FAX 027・255・3435

天候不順が続く四月になってからの雪も珍しいとニュースで話題になり、野菜の高騰が続く、火の車の家計に追い討ちをかけるような経済状況……。世界を見まわせば地震に火山爆発、航空機が運航不可能に……。それでも美しく桜は風に舞い、菜の花は元気に田畑に咲き乱れています。数日前に野菜を買いに、そこで餅つきを近所のおじさん、おばさんが集まってやっていました。子供時分は自宅の臼で家族総出で年末に餅つきをした事を思い出して、しばらく見ていました。そのうち辛味餅ときな粉餅をふるまって下さいました。臼で搗いた餅は空腹を満たすだけでなく、心まで満たしてくれました。「うんめいから食べてきな」と何回もすすめてくれ贅沢な昼食となりました。また、別の農家の奥さんたちがやっている店に寄った時は、味噌づくりを熱心に行っている姿に出会い。味噌作りの方法を教えてくれました。地産地消、安全な食をこれからしっかりとやっていかなくては……。と思います。

農道をゆつくりと車を走らせると、二人のおばあさんが菜の花の咲く道端で美味しそうにおにぎりを食べていました。

唐突ですが、仏教書に「空」についての説明があり、空の概念は「この世のすべての物事(色)は相互に因縁によって結びつき、ある現象を構成している。つまりこの因縁の関係性こそが「空」なのである。」と色とは、存在のことだそうですが、人と人の結びつきも目に見えない縁が重要なことのように思えるようになりました。自分が存在している、生きていて、生活している……。これは個で成立しているのではなく、多くの人と結びつきから存在しているといえるようです。心がけて一期一会の心をもって……。と思っています。

ここ数年、以前仕事で顔をみたり、一言二言お話をした作家の方が亡くなり心のどこかに小さな穴があいたようです。

立松和平、井上ひさし、少し前に筑紫哲也、加藤周一……。突然のテレビ報道や新聞で顔写真が出ると、フツと本棚に並ぶその作家の本を取り出してページを開き、そして声を聞くということが習慣にもなっていることに気がつきました。存在は、何人という「かたち」だけでなく本の中に当時の声のまま活字となって生きていることを実感しています。そして作家の素顔を思い出します。

## ノイエス朝日のご案内

\* 五月二日(日)〜九日(日) 休廊

第三回 本間教室(講師・本間重雄)  
「実学から虚学へ、虚学から実学へ」

ノイエス企画  
日時 五月十一日(火) 午後三時〜  
ノイエス朝日 スペース1  
聴講料 一〇〇〇円

\*お申し込みは、五月一日までにお電話下さい。

## 都木源之輔絵画展

〈企画展〉  
五月十三日(木)〜十九日(火)  
午前十時〜午後五時三十分(最終日は午後五時)

## 第三回 群馬工芸美術会五月展

〈企画展〉  
五月二十二日(土)〜五月三十日(日)  
午前十時〜午後五時三十分(最終日は午後五時)

## 田中栄作新作展

〈企画展〉  
六月五日(土)〜十三日(日)  
午前十時〜午後五時三十分(最終日は午後五時)

## 木村 明 ガラス展

〈企画展〉  
六月十九日(土)〜二十七日(日)  
午前十時〜午後五時三十分(最終日は午後五時)

## 〈新刊のご案内〉

三輪真純「生き方を求めて」 講述選集  
定価一〇〇〇円(税込)

「いつも笑顔でありがとう」「心のふれあいは生きる力」に続いてノイエスでの三冊目の著作。九十五歳になった三輪真純先生の二〇〇〇回以上におよぶ行脚先での講演の中から代表的なものを選んでまとめました。

表紙・本文中写真……稲葉州治

ノイエス朝日の書籍コーナーにて前著作二冊も販売いたしています。

## 〈県内展覧会のご案内〉

### 粉もの上州風土記



四月二十九日(木・祝)〜八月二十九日(日)

群馬県立歴史博物館  
午前九時三十分〜午後五時(入館は午後四時三十分まで)  
休館/月曜日(月曜が祝日の場合は開館、翌日休館)  
観覧料/一般三〇〇円・大高生二〇〇円・中学生以下無料  
電話 027・346・5522(歴史博物館)

歴博ショップにて、群馬県産の粉を使ったうどん、ラーメン、粉(うどん、すいとん、パンなど)も販売。  
図録には、粉を使った上州郷土料理レシピも掲載。  
歴博ショップ直通電話 027・347・8133

## 水上勉の世界

四月二十四日(土)〜六月二十日(日)  
群馬県立土屋文明記念文学館



午前九時三十分〜午後五時(入館は四時三十分まで)  
休館/火曜日(五月四日は開館、五月六日は休館)  
入館料/一般四〇〇円・大高生二〇〇円・中学生以下無料  
電話 027・373・7721(文学館)

関連行事 申込みが必要です。

水上勉原作映画鑑賞会 5/3 「飢餓海峡」  
5/4 「五番町夕霧楼」  
上映時間 午後一時〜 定員一〇〇名  
記念講演会「父 水上勉のこと」窪島誠一郎 5/16  
記念講演会「水上勉先生のこと」佐々木 愛 6/13  
講演会の時間は両日、午後二時〜 定員一〇〇名